

整理番号	事業名
214	特別展開催経費

所管部局
生涯学習部博物館

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(2) 妥当でない (2)	○ニーズを測定するには、入館者の来歴等について正しく把握・分析するなどの努力が必要 ○入館者数が増えていないことについては、ニーズというより市民の認知度を上げるための改善努力が必要
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当	妥当 (3) 妥当でない(1)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない (3)	○成果は「見える化」すべき。アンケート結果の精査や入館者数などにに基づき、指標の設定は可能であると考えられる。 ○PRの充実が必要
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(2) 妥当でない (2)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当 (4) 妥当でない(0)	
	将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性	妥当 (4) 妥当でない(0)	
	受益者負担の適正度	適正	妥当 (4) 妥当でない(0)	
執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	妥当(1) 妥当でない (3)	○他地域の外部委託状況を調査・検討して欲しい。 ○外部委託について、縄文文化交流センターで実施しているのだから、本館も可能かどうかは別として、検討すべきである。
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	妥当(2) 妥当でない (2)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (1) ②改善(2) ③当面現状維持(1) ④廃止(0)	○特別展の開催場所についても、博物館だけにこだわらず、市民がより足を運びやすい場所で開催するなど柔軟な検討をお願いしたい(新設する函館アリーナでの開催等) ○入館者数など、一定の成果指標に基づく評価が必要 ○アンケート結果などから効果的なPR方法を構築してほしい。(SNSの活用など) ○外部委託の活用も検討の余地がある。 ○特別展のみを独立させた予算の枠組みが適正かどうか検討すべき。
外部評価委員会としての提言	
改善	

